

広報



としま

5

令和元年 5 月発行 Toshima Village Public Relation 2019.5 No.239





「知事と語ろう車座対話」にあわせ、三反園知事が各島に訪問し、4月30日に各島でオリーブの木の植樹を行い、住民との交流を図りました。

オリーブについては、離島でも栽培実績が多くあり、今後村の新たな特産品としても期待できる事や、「平和、安らぎ、勝利」といった、オリーブの花言葉からオリーブを植樹する事になりました。各島、あいにくの空模様にもかかわらず多くの住民の皆さまに参加していただきました。ありがとうございました。

鹿児島県知事が十島村を訪問されました！



5	1
6	2
7	3
8	4

1～7
各島の
集合写
真 8
とから
マリン
キッズ
の皆さんと

た。
継者不足、畜産や漁業者の後
費支援、本土や奄美での宿泊
費支援、助産師の派遣など、
地域の課題や支援策の要望に
ついて意見交換を行いました。

見交換を行う場です。
今回は、畜産や漁業者の後
継者不足、車検時の海上輸送
費支援、本土や奄美での宿泊
費支援、助産師の派遣など、
地域の課題や支援策の要望に
ついて意見交換を行いました。

表16名が参加しました。
車座対話とは、知事が県内
市町村に出向き、住民と地域
の現状や将来などについて意
見交換を行う場です。

平成最後の4月30日、鹿児
島県の三反園訓知事が宝島に
来島され、住民と意見を交わ
す「知事と語ろう車座対話」、
村議会との意見交換会が開催
され、車座対話には、住民代
表16名が参加しました。

福祉事務所が開設しました



より地域に身近な福祉サービスの提供を目的とし、十島村福祉事務所を平成31年4月1日に開所しました。

4月1日当日は看板の除幕式および開所式を開催し、鹿児島県や村議会議員、福祉事務所嘱託医に出席していただき、鹿児島地域振興局長と村長による引継書の交換等が行われました。

福祉事務所について

これまで、鹿児島県で手続きが行われていた「生活保護の決定・支給」等の福祉サービス全般の事務について、十島村福祉事務所で取扱い、申請書の受理から審査・決定・支給までの一連の手続き等が福祉事務所で完結されることになります。

【これから、十島村福祉事務所で取扱う事務】

- ① 生活保護の決定、支給
- ② 児童扶養手当の認定、支給
- ③ 母子生活支援施設（母子寮）、助産施設の入所にかかる手続き
- ④ 配偶者からの暴力（DV）被害者等に対する相談、自立支援
- ⑤ 特別障害者手当及び障害児福祉手当等の認定、支給
- ⑥ 母子及び寡婦の相談・指導、母子家庭の就労支援
- ⑦ 家庭児童相談室の設置

上記のことで、対応が数段早くなると共に、相談や自立支援などより実情に合った形で支援が出来るようになりました。



福祉に関する相談ごと（病気や健康、障害 住まい DV・虐待 収入、生活費など）がありましたら、お気軽に十島村福祉事務所（役場と同じ 099-222-2101）へご相談ください。
【相談していただいた秘密は厳守します。】

住民健診便村内行政視察を行いました

5月13日から15日の住民健診便で、例年同様、鹿児島県職員等の村内視察を受け入れました。
今回は、鹿児島県企画部次長、鹿児島地域振興局総務企画部部長、観光課長、離島振興課長等の鹿児島県職員のほか、内閣官房総合海洋政策本部事務局から職員3名や国土交通省九州地方整備局副局長等職員4名も併せて、15名の視察団となり、副村長をはじめ7名の職員が随行しました。

あいにくの雨と各島、限られた時間の中での視察で十分な視察とはいえませんが、行程中は現場を前にして、様々な意見交換をすることができ、概ね本村の概要を理解していただきました。

▼中之島歴史民俗資料館の視察をしている様子



子牛せり結果について

令和元年5月 子牛せり市価格表

	出荷頭数			合計金額			平均価格		
	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計
5月	20	24	44	15,363,000	14,427,000	30,626,000	768,150	601,125	696,045
4月	21	21	42	16,773,000	12,981,000	29,754,000	798,714	618,143	708,429
前月比	-1	3	2	-1,410,000	1,446,000	872,000	-30,564	-17,018	-12,383

		氏 名	価 格	体 重	日 令	父	母の父
最高価格者	去勢	口之島 長谷川裕起	932,000	330	266	華忠良	百合茂
	雌	宝島 平田浩一	805,000	331	293	喜亀忠	華春福



平泉 二太氏の雌牛



日高 創氏の牛



長谷川 裕起氏の牛

十島村の魚を生かし商品開発



山口大悟副社長

また、今後においても、(株)山口水産、生産者（漁業者）、役場と連携し、村の経済の活性化につなげていきたいと思ひます。

県補助事業である、特定離島ふるさとおこし推進事業を活用し、十島村で獲れる魚、その中でも「市場流通しにくい魚を活用し漁業所得向上を目指す」をテーマに、(株)山口水産に商品開発をしていただきました。

山口大悟副社長より

いつも大変お世話になり、誠にありがとうございます。早いもので、中之島加工場を運営させていただき、5年が経過いたしました。

最初は不安もありましたが、皆様の心強い支えにより、トカラ急速凍結事業も順調に推移してきています。トカラで獲れた新鮮な魚はとても評判が良く、中之島で加工している急速凍結魚の認知度も全国的に広がってきています。

今後、トカラブランドをより発信出来る様に頑張りますので、引き続き、宜しくお願い致します。

また、中之島以外の島の漁師の方々との連携も広げていきたいと考えております。

是非、中之島加工場を利用して頂き、魚種拡大、生産量の拡大を図れればと思います。

(株)山口水産の協力体制について
平成25年1月から中之島水産加工施設の指定管理者となり、急速凍結事業、を展開。
同社による加工施設の稼働を機に、フェリーの運航に左右されない新たな流通手法が誕生し、漁業者の出荷にかかる選別肢がひとつ増えた。また、漁業者の出荷経費が不要であること、出荷の手間がかからないこと、さらに小ロットでも買い取ってもらえるなど、離島漁業の条件不利の緩和につながっている。
その他、加工事業を通じて雇用が生まれたりなど、十島村の魚介類PRにつながっている。

自身が所有している自動車等の自賠責保険（自動車損害賠償責任保険保険料）は、十島村などの離島の方が断然お得です。また、軽自動車税等については、本土も十島村も税額は変わりませんので、転入等により自動車等の住所変更をなされていない方については、十島村に住所変更することをおすすめいたします。

(自賠責保険料の例)

車種	本土保険料	離島保険料	備考
原動機付自転車	7, 280円	4, 790円	12ヶ月契約
軽自動車	26, 370円	7, 820円	24ヶ月契約
自家用乗用自動車	27, 840円	8, 810円	24ヶ月契約

※契約期間や車種により料金が変わりますので、詳しくは自動車販売店等にお問い合わせください。
※自動車等の住所変更については、運輸支局で行うこととなります。

自動車等の住所変更はお済みですか？

消防分団長会議を行いました

4月22日（月）に消防分団長会議を開催しました。会議では、村議会において改正された消防団条例「消防団入団規定を70歳まで引き上げ」に伴い、今後の消防力強化及び団員の確保について協議を行いました。また、梅雨・台風時期に伴う住民避難や災害時の情報伝達について、再確認しました。今後も住民が安心安全に暮らせるよう村の危機管理に取り組んでいきたいと思ひます。



自主防災会議を開催しました
4月22日（月）に、自主防災会議を開催しました。各島の自主防災会長及び分団長による合同会議を行い、各島の防災体制について協議を行いました。また、鹿児島県地域防災アドバイザー村野剛氏による「自主防災組織の必要性」について講義を頂きました。昨年度、鹿児島県が指定した土砂災害警戒区域について、各島自主防災組織を中心に危険箇所の確認近隣住宅への呼びかけを行いました。村域について、チラスを配布致します。



集中豪雨や台風時の大雨に備えましょう！

近年、局地的に短時間で多量の雨が降る「集中豪雨」が増えています。本村においても、昨年度、「50年に1度」の大雨を記録しており、大雨による被害も発生しております。大雨による集中豪雨は、時期や規模をある程度予測することができます。普段から気象情報に注意し、いざというときに備え、家庭ではもちろん、地域ぐるみで、日頃から対策を取りようにしましょう。



令和元年度 当初予算

令和元年度の当初予算がまとまり、3月議会定例会において承認されましたので、主な事業と一般会計の歳入・歳出状況についてお知らせいたします。

令和元年度の予算編成については、村財政の財源不足は継続していますが、これまで取り組んできた政策を継続・強化することを基本とし、「定住促進対策の強化」・「産業振興対策の推進」・「少子高齢化や地域づくり対策の強化」・「生活環境対策の充実」・「交通対策の向上」・「情報通信基盤対策の整備」・「行政対策の強化」を主要政策として、第5次総合振興計画や地方創生総合戦略の実現に向け引き続き取り組む方針です。

会 計 名 称	令和元年度	平成30年度	増 減 額	増減比
一 般 会 計	4,303,080	4,893,835	△590,755	△12.1
国民健康保険特別会計	125,556	106,817	18,739	17.5
船舶交通特別会計	1,083,216	1,018,744	64,472	6.3
介護保険特別会計	87,801	90,257	△2,456	△2.7
簡易水道特別会計	67,157	56,108	11,049	19.7
後期高齢者医療特別会計	7,298	7,597	△299	△3.9
へき地診療所運営事業特別会計	203,900	-	203,900	皆増

▲会計別予算規模の推移
(単位：千円・%)

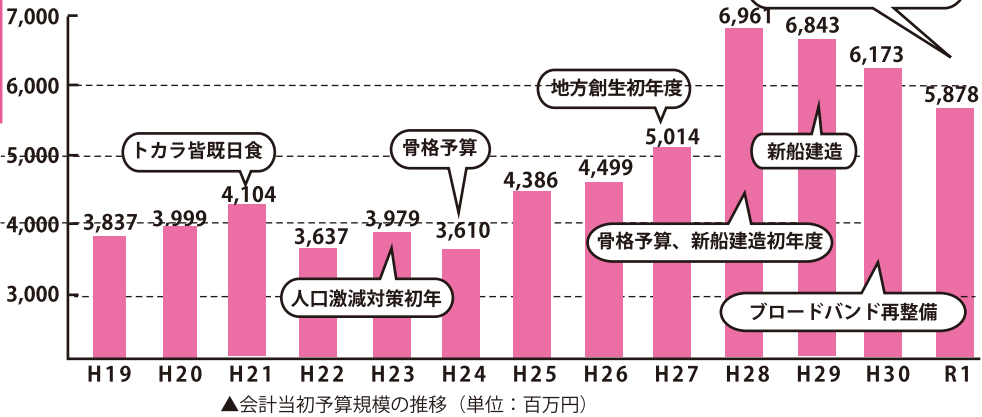
歳入の主な特徴

- 個人村民税は減少、法人住民税は増加。固定資産税は増加。
- 普通交付税、特別交付税は増加。普通交付税は、基準財政需要額における公債費の大幅な減が大きく予想されますが、福祉事務所設置に伴う需要額が伸びることが予想されることから、わずかですが増加。
- 国庫支出金については、補助港湾事業における社会資本総合整備交付金は増加しているものの、地域再生計画港湾事業が令和元年度は無いこと、ブロードバンド施設整備が大幅に減少していることから大幅に減少。
- 県支出金については、特別会計の設置に伴い、診療所運営費補助が無くなる半面、地域振興推進事業の増額見込み、また県議会議員選挙及び参議院議員選挙などが影響し増加。

○ 一般会計 4,303,080 千円
対前年度比 △590,755 千円
△12.1%

○ 特別会計 1,574,928 千円
対前年度比 295,405 千円
23.1%

>> 総額 5,878,008 千円 (△4.8%) の減額予算



▲会計当初予算規模の推移 (単位：百万円)

歳 入 費 目	歳入額	増 減 額	増減比
村 税	68,851	1,622	2.4
地方交付税	1,271,202	9,210	0.7
国庫支出金	1,309,746	△406,457	△23.7
県支出金	405,049	14,559	3.7
繰入金	342,222	△6,423	△1.8
村 債	760,600	△164,775	△17.0

▲歳入主なものの(単位：千円・%)

基 金 名 称	H29 末残高 決算額	H30 末残高 見込額	R1 当初 予算増減	差引残高
財政調整基金	624,154	640,849	△100,000	540,849
減債基金	376,665	376,732	△50,000	326,732
渡船基金	309,866	300,066	0	300,066
住民医療費運営引当基金	300,000	300,000	0	300,000
災害引当基金	100,000	70,105	0	70,105
黒毛和牛優良繁殖雌牛預託事業基金	107,250	79,950	△45,500	34,450
地域振興基金	774,312	780,685	△140,000	640,685
トカラふるさと基金	12,134	3,734	7,200	10,934
合 計	2,604,448	2,552,121	△328,300	2,223,821

自主財源 依存財源

区分	項 目	一般財源	特定財源	合計
自主財源	村税	68,851	—	68,851
	分担金及び負担金		83	83
	使用料及び手数料	6,531	30,118	36,649
	財産収入	10,666	3,824	14,490
	寄付金	1	16,662	16,663
	繰入金	241,922	100,300	342,222
	繰越金	1	—	1
	諸収入	3,790	33,145	36,935
	【自主財源計】	331,762	184,132	515,894
	地方譲与税	25,579	—	25,579
依存財源	利子割交付金	49	—	49
	配当割交付金	68	—	68
	株式譲渡割交付金	42	—	42
	地方消費税交付金	5,572	5,115	10,687
	自動車取得税交付金	4,163	—	4,163
	地方特例交付金	1	—	1
	地方交付税	1,271,202	—	1,271,202
	国庫支出金	—	1,309,746	1,309,746
	県支出金	—	405,049	405,049
	村債	—	760,600	760,600
【依存財源計】	1,306,676	2,480,510	3,787,186	
《合計》	1,638,438	2,664,642	4,303,080	

(5) 繰入金については、ふるさと納税における寄附金の減少に伴い、トカラふるさと基金からの各種事業への充当のための繰入れが大幅に減ったことから減少。
(6) 村債については、ブロードバンド整備、防災行政無線デジタル化が大きな割合を占めています。庁舎耐震化事業が令和元年度は無いことなどから減少。

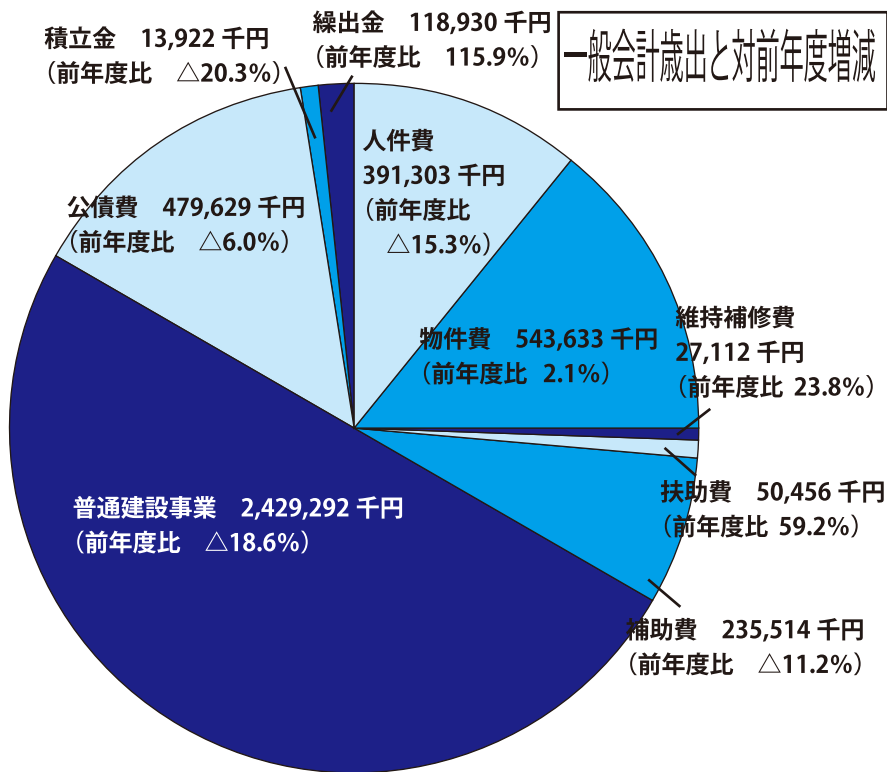
▲一般会計自主財源と依存財源 単位：千円

トカラふるさと基金の活用事業

令和元年度当初予算活用充当額 4,800 千円 積立見込額 12,000 千円

○ ふるさと納税推進事業	活用額 1,763 千円	事業費 14,124 千円	○ 列島マラソン事業	活用額 400 千円	事業費 3,463 千円
○ 地域振興推進事業	活用額 600 千円	事業費 5,313 千円	○ 非常備消防一般経費	活用額 250 千円	事業費 6,882 千円
○ 定住促進対策事業	活用額 300 千円	事業費 23,191 千円	○ 文化財保護対策費	活用額 200 千円	事業費 3,241 千円
○ 特定健診巡回診療事業	活用額 200 千円	事業費 3,008 千円	○ ファミリー劇場事業	活用額 400 千円	事業費 1,591 千円
○ 妊産婦検診補助事業	活用額 200 千円	事業費 1,177 千円	○ 悪石島ボゼユネスコ無形文化遺産登録記念事業	活用額 200 千円	
○ 産後ケア事業	活用額 100 千円	事業費 259 千円			
○ ミルク・紙おむつ支給事業	活用額 37 千円	事業費 975 千円			
○ 住宅リフォーム助成事業	活用額 150 千円	事業費 600 千円			

一般会計歳出と対前年度増減



※災害復旧費、貸付金、予備費は除く。

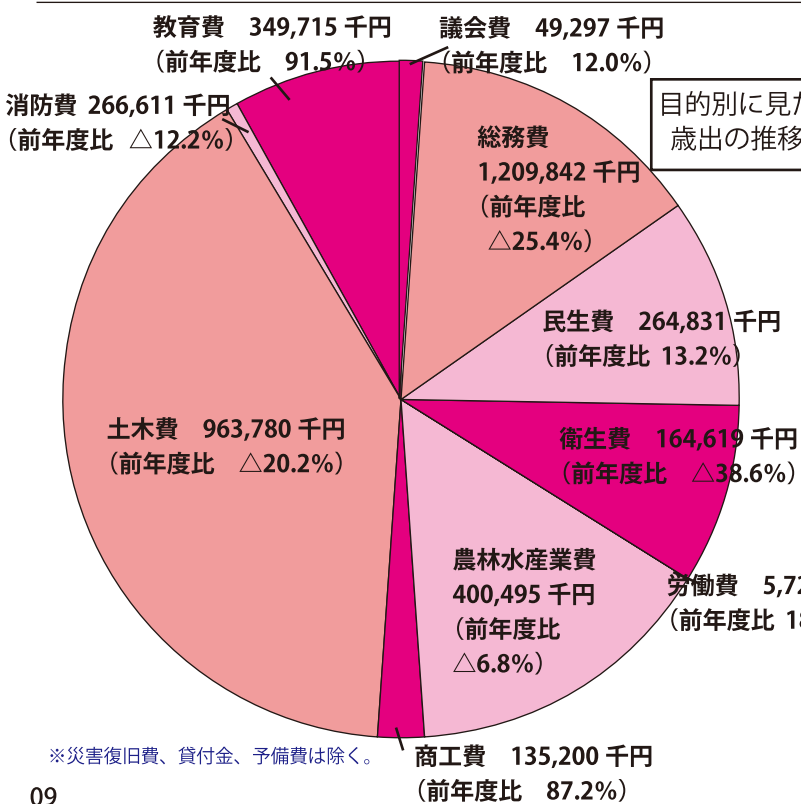
歳出の主な特徴

- 普通建設事業費は、補助港湾建設費(庁費)、寄宿舎及び教職員住宅整備で増加しているものの、携帯電話等エリア整備事業(ブロードバンド再整備)、補助道路新設改良事業、地域再生計画港湾事業などが影響し大きく減少。その他、建築事業の設計のほとんどを平成30年度で前倒して実施していることも影響。
- 人件費については、新たに防災専門官の配置に伴う人件費、出張所機能強化に伴う補助員報酬、JETプログラム(外国人講師派遣)で増加しているものの、診療所運営事業を特別会計に移行したことから、それらに伴う看護師等の人件費が皆減となったことから大幅に減少。
- 物件費については、賃金では地域子育て拠点施設整備事業、需用費も診療所医薬材料費で減少しているものの、備品購入費でブロードバンド予備回線の購入費、県議会議員及び参議院議員選挙に伴う定期船等の用

船料での増加などが影響し増加。

- 維持補修費については、道路維持に係る費用増加が影響し増加。
- 扶助費については、福祉事務所設置に伴う生活保護費等が増加していることから増加。
- 補助費等については、地域おこし協力隊報酬で増加しているものの、診療所事業の特別会計への移行に伴う医師派遣事業関連で減少しているのが影響し、大きく減少。
- 積立金については、ふるさと納税の収入見込み減に伴う積立金の減が影響し、減少。
- 公債費については、過去の港湾事業等の大規模事業の地方債償還終了に伴い減少していますが、ブロードバンド整備などの大規模事業の償還が始まる2020年度から大幅に増加してくる見込み。
- 繰入金については、国保特会繰出金、介護特会繰出金、簡水特会繰出金、船舶特会繰出での増に加え、へき地診療所特会への繰出金が皆増となったことで大きく増加。

目的別に見た歳出の推移



※災害復旧費、貸付金、予備費は除く。

令和元年度当初予算 主事業

新規事業を中心に主なものを紹介します。

新	R1 新事業
○	総務費
	指定宿泊所宿泊費助成事業 事業費 2,500 千円
	鹿児島市、奄美市に所在する村指定の宿泊所宿泊費を助成しています。年々事業費が増大していることから制度の見直しを行なった結果、助成金が減少しています。
	ふるさと納税推進事業 事業費 12,115 千円
	国のふるさと納税制度の拡充及び村の制度の拡充に合わせ、当村のふるさと納税制度の PR 等を行い、自主財源の確保及び特産品等買い上げによる産業振興を進めます。
新	地域振興（交流人口拡大事業） 事業費 1729 千円
	観光振興や交流人口の拡大を図る事を目的とし、特別便を活用して1 航海で7 島全て を巡る観光ツアーを実施します。
新	特定離島（共同販売所兼給油施設） 事業費 47,810 千円
	悪石島に共同販売所兼給油施設を整備し、島民及び観光客等利便性の向上及び安心全して暮らせる島づくりを行います。
	携帯電話等IIT整備事業 事業費 723,896 千円
	無線設備等、設備の老朽化等により安定的にインターネット通信等が出来ない状況にあることから H3 0 年度から3 年程度かけて光海底ケーブルを敷設し、安定的な通信環境の環境の整備を図ります。
	特定離島（定住対策） 事業費 8,233 千円
	定住の総合的な促進を図るため、定住促進ﾌﾟﾛｸﾞﾚｸﾞﾚｰﾑとの連携強化、Uﾀｰﾝ者随行、既 Uﾀｰﾝ者と意見交換、都市での定住説明や面談等を実施します。
	地域振興推進事業 事業費 4,679 千円
	地域が主体的に取り組む地域づくり活動を支援し、地域の活性化を図ります。
新	参議院議員選挙費 事業費 14,882 千円
	任期満了に伴う参議院議員選挙の執行に係るものです。
○	民生費
	定住促進対策事業 事業費 22,251 千円
	定住促進のため3 年目の節目、及び転入費用を、子どもの増加促進のため出生、入学祝金、及び中学生以下生活支援金を交付するほか、婚姻にも交付金を交付します。
	住民医療費助成事業 事業費 1,902 千円
	一定の要件を満たした方が負担する医療費の一部を助成します。
	障害者自立支援経費 事業費 3,740 千円
	障害者の自立支援に向けた障害・介護給付を行います。
	高齢者優待乗船券事業 事業費 5,118 千円
	70 歳以上の方を対象に年 12 往復できる乗船券を交付します。平成 30 年度から段階的に交付基準年齢を引き上げていきます。
	特定離島（健康増進対策） 事業費 4,004 千円
	機能訓練をはじめ、栄養指導、保健指導、及びとからいきいき教室のｽﾎｰﾑなど、総合的に健康増進活動を進めます。
新	特定離島多世代交流ふれあいセンター整備 事業費 23,885 千円
	中之島に未就学児の保育や高齢者の見守り支援のための施設を整備します。
	地域子育て支援拠点事業 事業費 31,171 千円
	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、子育て家庭の

支援活動の企画、調整及び実施を担当する職員を配置し、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークルの支援、地域の保育需要に応じた保育事業等を積極的に実施します。

新	福祉事務所費（総務費、扶助費） 事業費 21,771 千円
	平成 31 年 4 月 1 日に開所する福祉事務所の運営に関する費用及び生活保護受給世帯への扶助費等の給付を行います。
	ｼﾏ・紙おむつ支給事業 事業費 600 千円
	乳幼児に係るｼﾏ、紙おむつの購入費の一部を助成します。
○	衛生費
	特定診療科巡回診療事業 事業費 2,795 千円
	県の支援を受け、歯、皮膚、眼、耳鼻咽喉科の診療を行います。
	妊産婦検診補助事業 事業費 929 千円
	妊産婦が検診を受診するため、村外に旅行する費用の一部を助成します。
	離島地域不妊治療支援事業 事業費 385 千円
	安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、不妊治療をうける方に対し、その費用の一部を助成します。
新	地域自殺対策事業 事業費 4,505 千円
	地域における自殺対策の強化を図るため、健康に関する相談や普及啓発活動などの対策を講じます。
新	風疹予防接種事業 事業費 129 千円
	風疹の抗体検査、予防接種費用の補助を行います。
	特定離島(ﾌﾞﾘｵ駆除) 事業費 6,594 千円
	口之島、中之島のﾌﾞﾘｵ駆除に要する経費です。
	特定離島(ﾊｲﾌﾞ 駆除) 事業費 500 千円
	小宝島、宝島のﾊｲﾌﾞ 駆除を促進するための買い上げ金です。
	ｺﾞﾐｼｬｸﾙ推進事業 事業費 4,308 千円
	ゴミ収集に要する経費で、ｺﾝﾍﾞｰﾄﾞの購入費の一部も助成します。
	特定離島（ごみ処理施設整備） 事業費 29,873 千円
	宝島に生ゴミ処理施設及び焼却施設を新しく整備します。
○	労働費
	現業業務事業 事業費 5,772 千円
	現業業務員の作業に関する経費や意見交換に要する費用です。
○	農林水産業費
	就業者支援事業 事業費 32,304 千円
	一定の要件を満たす転入から間もない Uﾀｰﾝ者を対象に、村で自立するために産業に従事した日数に応じて、奨励金を交付します。
	土地改良施設維持管理適正化事業 事業費 27,217 千円
	宝島のため池整備に係る費用で 2019 年度は西村ため池を整備予定。
	国境離島（輸送ｺｽﾄ支援） 事業費 9,603 千円
	特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用して本土遠隔性に起因する条件不利性を緩和するとともに、基幹産業である農水産業の新興を図り、雇用を拡充する観点から、農水産品全般（加工品以外）の出荷や原材料の輸送に係る費用を支援します。
新	地域振興（ﾄﾎﾞｶ地域産物高付加価値化） 事業費 5,509 千円
	地域産物の掘り起しや生産者の栽培意欲向上を目指し、業務委託による加工材料調査や新加工商品開発、その他市場開拓などを行います。
	単独草地開発事業 事業費 8,005 千円
	餌不足の軽減、及び品質向上のため、各島の草地改良を進めます。
	特定離島（家畜保護施設整備事業） 事業費 30,442 千円
	諏訪之瀬島において牛舎を整備します。
新	特定離島（畜産振興施設整備事業） 事業費 21,546 千円

ホイルローダー及び 2 t ダンプをそれぞれ 1 台ずつ整備します。

黒毛和種優良肉用繁殖雌牛導入事業 **事業費 46,217 千円**

農家の規模拡大のため、積極的に優良繁殖肉用雌牛の導入を進め、農家の経営安定化と村全体の母牛頭数 1 千頭を目指します。

新	特定離島（かんがい・排水施設整備） 事業費 14,030 千円
	宝島の西村ため池への進入路を整備します。
	補助林道舗装事業 事業費 42,580 千円
	口之島の林道前岳線について、国の補助事業である農山漁村地域整備交付金を活用して舗装整備し、林業振興・地域振興につなげます。また、林道中之島線の橋りょうについて点検診断を行います。
	単独竹林改良事業 事業費 600 千円
	諏訪之瀬島及び悪石島が出荷している大名たけのこについて、間伐などの肥培管理等に関する助成を行い、生産量を増やし、トカラ産の大名タケノコのさらなる販路拡大を目指します。
	離島漁業再生支援事業 事業費 2,622 千円
	漁業集落の実施する水産業振興事業に補助金を交付します。
	特定離島（漁船漁業利便施設整備） 事業費 27,974 千円
	諏訪之瀬島の切石港の上架施設の上屋整備及びウィンチ整備を行うとともに、既存施設の解体撤去も行います。
○	商工費
	特定離島（生活物資輸送支援） 事業費 13,208 千円
	生活に欠かせない食料品の運賃を支援し、負担軽減を図ります。
	ななしま運航費等 事業費 21,862 千円
	指定管理で運航している「ななしま 2」に要する運航費用及びドック経費です。
	列島マラソン 事業費 3,317 千円
	交流人口の拡大、観光客の誘致に繋げる事を目的に島めぐりのマラソン大会を実施します。2019 年度で 13 回目を迎えます。
新	地域振興（温泉施設整備） 事業費 10,360 千円
	悪石島の砂蒸温泉及び宝島の友の花温泉のボイラー整備を行う。
	地域おこし協力隊（観光支援） 事業費 4,000 千円
	特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、観光業の活性化を図ります。
	地域振興（ｶﾞｲﾄﾞﾏｯﾌﾟ） 事業費 2,300 千円
	島々の「情報発信」を目的として、観光ガイドと連携し各島の「観光ルート」「観光スポット」「歴史」等に着目したガイドマップを作製し、ガイドの資質向上に繋がます。
新	特定離島（研修交流施設整備） 事業費 47,261 千円
	地域おこしボランティアを積極的に受け入れ、農地の栽培面積拡大や収穫繁忙期の労働力不足を補うため、また交流人口を拡大するために悪石島に宿泊施設を整備します。
新	地域振興（観光情報発信強化対策） 事業費 2,400 千円
	島内の観光案内版で劣化しているもの、及び情報が古くなっているものについて、更新します。
○	土木費
	補助道路新設改良事業 事業費 192,154 千円
	口之島中央線、中之島海岸線、中之島中央線、中之島御岳線、平島東海岸線、切石元浦線、宝島星窪線などの新設改良工事を要望しています。
	特定離島（道路環境整備） 事業費 25,090 千円
	国の交付金事業では整備できない、集落道整備や側溝蓋整備を県単補助事業で実施し、交通安全を図ります。
	特定離島（防舷材等整備） 事業費 24,161 千円

	防舷材等の港湾附属施設を整備し、安全接岸に向けた対策を講じます。
	補助港湾建設事業 事業費 600,000 千円
	東之浜港の防波堤ケーソン製作、小宝島防波堤（東）の上部工工事、悪石島やすら浜港防波堤（北）の設計委託を行います。
	特定離島（定住促進住宅整備） 事業費 25,088 千円
	定住人口の確保のため、島外からの Uﾀｰﾝ者及び住宅困窮者向けの住宅を整備します。2019 年度については、中之島及び悪石島の既存の村営住宅をそれぞれ 1 棟ずつ増築予定です。
	補助離島活性化（空家改修） 事業費 22,586 千円
	定住人口の確保のため、Uﾀｰﾝ者及び住宅困窮者向けの住宅を整備します。2019 年度については、口之島及び小宝島の空き住宅（※小宝島は旧出張所）を改修予定です。
○	消防費
新	防災専門官報酬等 事業費 2,359 千円
	防災対策の高いノウハウを持つ防災専門官を配置します。
	防災行政無線整備（デジタル化） 事業費 239,078 千円
	アナログ無線を平成 30 年度からの 2 ケ年事業にてデジタル化します。
	特定離島（消防施設整備） 事業費 3,305 千円
	島内での火災を防ぐため、平島及び宝島に小型動力ポンプを整備予定。
新	消防団設備整備事業 事業費 3,945 千円
	島内での AED の更新及び消防団の災害時の情報手段確保のためトランシーバーを整備します。
○	教育費
	離島高校生修学支援事業 事業費 8,924 千円
	村外に滞らし、通学する高校生の滞在費用及び帰省に要する交通費を支援します。
	補助離島活性化（山海留学・PR） 事業費 21,053 千円
	2019 年度は 27 名の受け入れを見込んでおり、里親の離島時のｽﾎｰﾑﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ家族に対する経費を支援します。
新	小学校集合学習事業 事業費 602 千円
	小学 5 ～ 6 年生を中之島に集め集合学習を行います。
	JET プログラム事業 事業費 29849 千円
	ALT 講師との学習を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にｺﾐｭﾆｬｰｼｮﾝを図ろうとする態度の育成を図ります。ALT 派遣講師を新たに諏訪之瀬島と平島に配置予定です。
新	へき地教職員住宅整備 事業費 74,892 千円
	教職員住宅の整備を図り、住宅不足と教員の生活環境の改善を図ります。2019 年度は中之島と平島に 2 世帯長屋を 1 棟ずつ整備予定。
新	へき地寄宿舎整備 事業費 58,440 千円
	学校存続のため、山海留学生用の寄宿舎整備を進めています。2019 年度は諏訪之瀬島に整備予定です。
新	中学校修学旅行費 事業費 1,968 千円
	中学生の修学旅行を計画します。6 月に旅行予定です。
	ﾌｧﾐﾘｰ劇場 事業費 1,591 千円
	各島で文化芸能に触れる機会を提供します。
新	悪石島ボゼ1ｷｬﾝﾌﾟ無形文化遺産登録記念事業 事業費 1,902 千円
	ボゼの世界文化遺産登録を記念し、記念式典やボゼツアーなどを実施。
新	地域振興推進事業 事業費 7,501 千円
	ボゼの世界文化遺産登録を記念し、講演会やシンポジウムなどを開催します。シンポジウム等は三島村（メンドン）と共同で実施予定です。
新	特定離島 事業費 16,962 千円
	ボゼの世界文化遺産登録を記念し、悪石島にボゼ展示施設及び記念碑を整備予定です。

ポイント②

本人のペースに合わせる

認知症になっても、ゆっくりであればできることも多いので、本人の様子をよく見て、焦らせたり急がせたりしないようにしましょう。

また、一度にたくさんのことを言うと認知症の方を混乱させてしまいます。ゆっくりとシンプルに、わかりやすく伝えることを心がけましょう。

環境が変わることは症状を悪化させると言われています。なじみの環境を保つことも大切です。



ポイント③

笑顔でにこやかに接する

理解はできていなくても表情や感情は伝わります。笑顔で接することで認知症の方も安心できます。

多少困った行動をとっても、なるべく笑顔で接するよう心がけてください。

認知症の方の抱える不安をやわらげ、さびしい思いをさせないためにスキンシップも大切です。



NEW OPEN!! 小宝島でもアダン・カフェ誕生!



～認知症カフェとは～

“認知症の方とご家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場”です。



「認知症って知っているようでよくわからない？」一緒に考えて皆で支え合いましょう。多少のことは、お互いさま。笑顔で楽しく一日を過ごせたら素敵です。月2回（第2，4金曜日）10:00～12:00 オープンしています。

（※認知症カフェ詳細については、広報としま 前月号 をご参照ください^^）

～認知症とは～

以前できていたことができなくなり、日常生活や社会生活に支障をきたした状態のことを指します。さまざまな原因で脳の細胞が死ぬ、または働きが悪くなることによって、記憶・判断力の障害などが起こります。

認知症は、老化によるもの忘れとは異なります。物忘れの自覚がなかったりする場合は、認知症の可能性もあります。

十島村は、認知症になっても「住み慣れた島でいつまでも暮らすことが出来る」を目指します。



僕たちはどうやって
支えたらいいの
う??



誰もが、安心して
暮らせる十島村に
したいよね♪

これであなたも、関わり上手に！ 認知症の方との接し方 基本編

認知機能が低下することで、色々なことがわからなくなっているようでも、その人らしさや感情がなくなっているわけではありません。介護者を悩ませる症状の多くに関わり方次第でやわらげることができます。

認知症の介護に絶対はありませんし、今日上手くいった対応が明日も上手くいくとは限りません。「こうすべき」「こうしてはいけない」とあまり思い込まずに、関わり方のヒントとして参考にしてください。

ポイント①

気持ちに寄り添い自尊心を傷つけない

一見理解できない行動にも本人なりの理由があります。頭ごなしに否定したり怒ったり、または子ども扱いしたりすると自尊心を傷つけてしまい、その出来事自体は忘れても「いやな思いをした」という感情だけは残ってしまいます。

本人の気持ちを理解するように努めて、その気持ちに寄り添った対応を心がけましょう。

まずは、「そうですね」と一度受け入れることから始めましょう。



十島村子育て世代包括支援センターだより

十島村では、安心して出産・子育てができるように、平成30年4月より「**十島村子育て世代包括支援センター**」を設置しております。
妊娠・出産・子育てについてのワンストップ相談窓口です。
産前・産後のからだのこと、こころのこと、育児のこと気になることがあればお気軽にご相談下さい。



気になっている 妊娠・出産のこと

- ・初めての妊娠・出産で不安
- ・思いがけず妊娠したかもしれない
- ・出産するか悩んでいる
- ・つわりで思うように食べられない
- ・不妊治療の相談したい

出産後の からだ・こころのこと



悩んでいる 子育てのこと

- ・おっぱいが足りているかな？
- ・赤ちゃんが泣いてばかりで困る
- ・身近に助けてくれる人がいなくて不安

◎虫歯菌はどこから来るのか？

虫歯菌は、2歳くらいの子供には、虫歯や歯周病の元となる細菌は口の中に定着していないと考えられています。では、どこから虫歯菌がくるかというと、子供の周りの人から移ります。キスをしたり、親が使った箸で食べ物を与えたり、同じコップを使ったりするとうつります。硬いものを噛んで与えるなんて、もってのほかということになります。

◎虫歯菌がうつるのを避ける方法は？

虫歯菌が子供にうつってしまうのを避けるには、大人の唾液が付着したものを子供の口の中に入れないことが大切です。

- ・同じ箸を使わない
- ・同じコップを使わない
- ・大皿料理は、子供のを最初に取り分ける
- ・熱いものを冷ますときに、口でフーフーしない
- ・キスをしない
- ・子供が親の口を触ったら、子供の手をふく



皆で守ろう、お口の健康！！

◎大人の口の中を清潔に

子供に唾液がつかないようにするのも大切ですが、まわりの大人の虫歯菌や歯周病菌を減らしておくのも重要です。つまり、口腔ケアが重要です。

開設時間 平日8:30~17:15

〒892-0822 鹿児島市泉町14番15号 十島村役場 住民課内

TEL 099-222-2101 FAX 099-223-6720 担当 肥後 あかね(保健師) 森 節代(保育専門員)

小宝島の硫気孔熱水から分離された超好熱菌

「KOD1 (サーモコッカス・コダカラエンシス)」

生命科学分野の先端技術に、DNAを試験管の中で増幅する技術としてPCR(ポリメラーゼ・チェーン・リアクション)法というものがあります。

この技術の成果は、現在ではDNA鑑定、遺伝子組み換え、遺伝子診断、食品の雑菌検査など医療、環境、食生活、犯罪捜査など私たちの日常生活の様々な分野に広範囲に浸透しています。

微量のDNAでは、それを分析したり、活用するには「量」が足りません。その「量」を増やす方法がこのPCR法です。元の鋳型となるDNAを入れた溶液に酵素などを加え、高温と低温の状態に置き、繰り返して反応させることで極微量のDNAを短時間のうちに100万倍以上に増幅することができます。しかし、酵素は、高温では変性してしまうのでその都度補充しなければなりません。

ところが、1993年、当時大阪大学の今中先生は、小宝島の100度近い硫気孔の熱水の中に生息する超好熱菌を発見、その菌から熱に強い特殊な酵素を分離、この超好熱菌を発見場所の小宝島にちなんでKOD1(サーモコッカス・コダカラエンシス)と名付けました。この発見によりPCR法は飛躍的に発展、KOD1は世界で活躍しています。

夢の島に幸あれ！

その「今中先生」から広報としまに寄稿いただきましたので紹介いたします。

関西地方に住んでいると鹿児島県の島々といえば種子島・屋久島・奄美大島・徳之島などが頭に浮かびます。トカラ列島は1993年に海洋バイオテクノロジー研究所の誘いがあって我々のグループが海洋試料の採取に参加したのがきっかけで知ることになりました。その中の小島である小宝島の硫気孔から熱水サンプルを持ち帰り、超好熱菌の分離を試みると、幸いにも60℃~100℃で生育する超好熱菌を分離することができました。当初はPyrococcus属の微生物であると考え、アメリカの専門学術誌に発表しました(1994年)。その後、生理学的解析、全遺伝子の塩基配列決定、遺伝子交換系の開発などを行い、さらに多くの新規酵素や新規代謝経路の発見につなげることができました。そしてこれらの情報を精査し、本菌はThermococcus属の始原菌であるとした方がより適切であるとの結論に達しました(2004年)。また小宝島から分離した微生物であるためこれを種名に入れて、Thermococcus kodakarensis KOD1と名付けました。

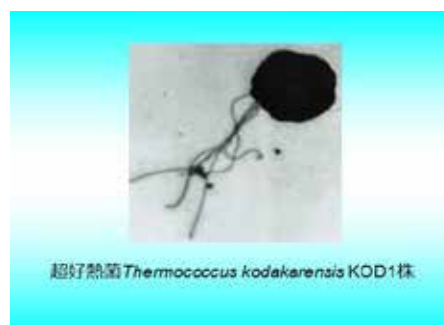
本菌について研究を始めてから約25年が経過しました。基礎的分野では何故タンパク質、DNA、RNA、細胞膜などの生体成分が100℃近くでもその生理機能を失わないかを分子レベルで説明することができました。また応用分野では、次のような例を挙げることができます。

①本菌のDNA複製酵素は、世界で一番速く、長く、正確にDNA合成できる酵素であり、その特性ゆえに遺伝子増幅に最も適した酵素であると認められ、世界中で販売・利用されています。遺伝子工学的研究はもとより、親子鑑定、犯罪捜査、環境モニタリング、雑菌汚染の予防など多方面で世の中に貢献しています。

②廃棄生ごみなどを利用してKOD1株を増殖させることにより効率的に水素を生産することができます。現在環境省や京都府の支援を得て事業化に邁進しているところです。以上の結果を背景に、本菌は高校の教科書に掲載されました。

またNHKの特集で小宝島を訪問した時には、潮湯地獄から103℃で生育する新しい超好熱菌を分離することができました。島の民宿に泊めて頂き、小宝島小・中学校を散策し、共同浴場に入ったのも懐かしい思い出です。若い家族を受け入れるために住宅が用意されていることにも感心しました。

十島村は南北約160kmに及ぶ「日本一長い村」だそうです。雄大な自然と、独特の動植物があり、「夢の島」と呼ぶこともできそうです。私も講演の時にはいつも小宝島の写真を出して説明していますので、潜在的なファンは結構多いのではないかと思います。「夢の島に幸あれ！」と願っています。



◀小宝島の硫気孔の熱水から分離された超好熱菌「KOD1」(サーモコッカスコダカラエンシス)

▶小宝島の湯泊温泉 共同浴場であり、ここに入浴するため小宝島を訪れる観光客も少なくない



悪石島 のびっこ園 はじめてのクッキング

にゅうえん おめでとう




小宝島 こだから園 にゅうえんしき

アダンの里
さんとの交流
いつも快く受け
入れてくださり
ありがとう
ございます




セロテープ切製

平島 たいらっこ園

子育て支援教室
親子ふれあい遊び
& トンネル遊び

親子クッキング
& 手作りおやつ

にゅうえん おめでとう




宝島 いまきら園

卒園式

おめでとう
入園進級式




そつえんおめでとうございます
しょうがっこうへいってもがんばって

中之島 ほしのご園

ほしの
こえん
のこと
もたち




そつえんしき

口之島 くちっこ園

にゅうえん おめでとう




諏訪之瀬島 すわっこ園 親子遠足
宝探し 楽しかった

そつえん おめでとう




地域担当職員(平成31年4月1日～)

島名	担当者名			
口之島	平山太志 土木交通課 2019.4～	永田勇樹 地域振興課 2016.7～	安栖侑汰 総務課 2019.4～	片平翔太 住民課 2019.4～
中之島	本砥貴子 住民課 2019.4～	谷村竜己 畜産組合 2019.4～	山室悠輔 総務課 2016.7～	松下宗磨 教育総務課 2018.5～
諏訪之瀬島	後野真由美 地域振興課 2019.4～	新納一基 総務課 2019.4～	上野陽子 住民課 2017.11～	
平島	藏町拓郎 総務課 2019.4～	國生康弘 土木交通課 2019.4～	迫田洋平 地域振興課 2019.4～	
悪石島	肥後 亘 総務課 2019.4～	池田直也 住民課 2019.4～	牧元 敦志 地域振興課 2019.4～	森永淳平 土木交通課 2019.4～
小宝島	有川孝志 土木交通課 2019.4～	肥後あかね 住民課 2019.4～	宮元 竹雨 地域振興課 2019.4～	
宝島	隈元仁志 地域振興課 2019.4～	中野豪 土木交通課 2019.4～	高倉聡一朗 出納室 2019.4～	池袋 誠矢 地域振興課 2018.6～



土木交通課 航路対策室

森永 淳平 (もりなが じゅんぺい)

本年度より、航路対策室に配属になりました、森永順平と申します。

村民の方々の期待に応えられるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



住民課 村民室

片平 翔太 (かたひら しょうた)

住民課では、戸籍、ゴミ関係、犬・猫関係等を担当しております。

まだまだ、未熟者で分からないことも多く、皆様にご迷惑をお掛けしますが、頑張っ参りますので、よろしくお願い致します。

New Face!!

新人職員を紹介します！



小宝島診療所

竹下 和子 (たけした かずこ)

夫と2人での移住となり、島での生活は初めての経験ですので、不安と期待とで、ドキドキワクワクしております。1日も早く島の皆様と仲良く寄り添っていけるよう努力してまいります。



中之島診療所

平田 真里奈 (ひらた まりな)

不慣れな点もあるとは思いますが、1日も早く慣れ、島民の皆様に寄り添いながら看護を提供していきたいと思ひます。

よろしくお願い致します。



諏訪之瀬島診療所

福田 多夏美 (ふくだ たかみ)

4月より、諏訪之瀬島へき地診療所に勤務させていただきますことになりました。

仕事に慣れないうちは何かとご迷惑をお掛けすると思ひますがご指導の程よろしくお願い致します。

令和元年度からの十島村観光ガイドをご紹介します

平成31年4月1～、下記のとおり口之島、中之島、悪石島の各1名の方が新しく観光ガイドとして委嘱されております。任期は3年後の令和4年3月31日までです。

この度口之島観光ガイドを務めることになりました中村と申します。

定年後の余生を故郷口之島でのんびりと思って口之島に来てはや1年が過ぎようとしています。突然の観光ガイド役引受依頼に少々戸惑いもありましたが、これが島興しの一助になればとの思いで引受けることにしました。

歴史、民俗学、自然等に興味のある方は是非とも口之島を訪れてみて下さい。きっと新しい発見があるはずでず。

皆様の来島を心よりお待ちしております。



▲口之島観光ガイド 中村 久仁男氏



▲中之島観光ガイド 土岐 純郎氏

今年度観光ガイドをすることになりました土岐純郎です。

私は、昨年5月中之島にUターンしてきました。高校を卒業してから約40年くらい経ちました。中之島は色々変わってました。4月から観光ガイドをするにあたり自分なりに勉強して、中之島のことを観光でき、また、観光客が満足できるよう努力していきたいと思ひます。

中之島の観光ガイド土岐純郎よろしく。

▼悪石島観光ガイド 久永 航希氏



悪石島に来て5年が経ちました。これからは観光ガイドとして、悪石島を訪れた方々に島の良さを知ってもらえるよう案内したいです。昨年はボゼがユネスコ無形文化遺産に登録されました。元号は「令和」に変わりますが、悪石島の伝統を守りながら、島を活性化させられるよう頑張りたいと思ひています。

口之島：中村 久仁男 (新) TEL：09912-2-2229

中之島：土岐 純郎 (新) TEL：09912-2-2101

諏訪之瀬島：矢澤 雄輔 TEL：09912-2-2162

平島：日高 守 TEL：09912-2-2505

悪石島：久永 航希 (新) TEL：09912-3-2063

小宝島：岩下 勝美 TEL：09912-4-2001

宝島：前田 昭利 TEL：09912-4-2129

なお、各島の委嘱状況は左記のとおりです。

(任期：平成31年4月1日～令和4年3月31日まで)

村営定期船 フェリーとしま2 鹿児島 ↔ 十島村 ↔ 名瀬

令和元年 6 月運行予定



十島村 土木交通課 航路対策室
TEL: 099-222-2101
フェリーとしま2
TEL: 090-3022-4523



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
予 定		入			入		入		入			入		入		入			入		入		入			入				
便 区 分			名瀬便		名瀬便 (臨時便)		名瀬便			名瀬便		名瀬便 (臨時便)		名瀬便			名瀬便		名瀬便 (臨時便)		名瀬便			名瀬便					特別便	

トカラふるさとづくり寄附金を積極的に推進します！！

十島村では、ふるさと納税寄附金を利用した活力ある村づくりを進めるため、「トカラふるさと基金」を創設し積み立てています。平成 30 年度の寄附額等については、下記のとおりです。

～平成 30 年度トカラふるさとづくり寄附金の状況について～

平成 30 年度の寄附は、**698 件**、**12,154,000 円**となりました。（前年度比-386 件、-932,800 円）

単位:(人、社、円)

一般合計	県内			県外		合計		合計
	個人	職員	団体	個人	団体	個人	団体	
件数	36	58	3	601	0	695	3	698
金額	1,332,000	1,971,000	120,000	8,731,000	0	12,034,000	120,000	12,154,000

十島村で生まれ育った皆さま、またご縁のある皆さま、「ふるさと納税制度」を活用し、むらづくりの応援をお願いします！

【ご寄附への特典について】

ご寄附をしていただいた方には、お好みの特産品を選んでいただき、旬の時期に送付させていただいております。

十島村ふるさと納税窓口 十島村総務課 TEL099-222-2101

最後に

5月1日より、平成から令和になり、新元号がスタートしました。十島村としても4月より新年度がスタートし、約2ヶ月が経過しようとしております。

島の出来事、お知らせ等、今後もできるだけ掲載していきますので、皆様に少しでも楽しんで読んでいただけたら幸いです。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報係

〒892-0822 鹿児島市泉町 14-15

tel:099-222-2101

よろしければ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

十島村の人口・世帯数 平成 31 年 4 月 30 日現在

島 名	男性	女性	人口	世帯
口 之 島	67	60	127	75
中 之 島	90	69	159	94
諏訪之瀬島	32	28	60	30
平 島	41	41	82	42
悪 石 島	43	38	81	36
小 宝 島	33	31	64	34
宝 島	63	65	128	69
合 計	368	333	701	380